



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社コナカ 上場取引所 東
コード番号 7494 URL <https://www.konaka.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長CEOグループ代表 （氏名）湖中 謙介
問合せ先責任者 （役職名）取締役常務執行役員CFO管理本部長 （氏名）湖中 龍介 TEL 045（825）7700
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	42,073	△7.1	571	△56.3	865	△43.9	2,908	88.4
2025年9月期第3四半期	45,308	△11.4	1,308	158.1	1,542	118.7	1,543	—

（注）包括利益 2026年9月期第3四半期 856百万円（△44.0％） 2025年9月期第3四半期 1,527百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	86.24	—
2025年9月期第3四半期	45.96	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第3四半期	37,147	17,183	46.3
2025年9月期	42,274	16,634	39.3

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 17,183百万円 2025年9月期 16,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2026年9月期	—	5.00	—		
2026年9月期（予想）				5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	55,240	△0.4	423	—	621	—	1,585	—	47.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年9月期3Q	35,322,490株	2025年9月期	35,322,490株
2026年9月期3Q	1,536,314株	2025年9月期	1,656,601株
2026年9月期3Q	33,726,008株	2025年9月期3Q	33,597,224株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善により、国内経済は底堅く推移したものの、物価上昇の長期化により消費者の選別消費が一層進み、衣料品を含む個人消費は慎重な状況が続きました。また、中東情勢を背景とした資源価格や為替相場の変動など、企業を取り巻く経営環境の不確実性は高まっております。

このような状況のもと、ファッション事業につきましては、「コナカ・フタタ」では、猛暑・酷暑対策商品として展開する『氷撃 FREEZE TECH』のコラボアイテムを前年より拡充し、高機能商品のラインアップの充実を図りました。「SUIT SELECT」では、働く女性に向けた新たなオフィスファッションとして『Half sleeve WIDE PANTS SUIT』を発売し、ビジネスカジュアル需要への対応を強化いたしました。また、オーダー専門の「DIFFERENCE」では、『Tシャツより上品、ワイシャツより軽快』をコンセプトとした『ブルオーバーシャツ』や『BIZポロ』のオーダー受注を開始し、夏場の新たな需要の開拓に取り組みました。また、AIやデジタル技術を活用した次世代型オーダースーツブランド「FUTURE SUIT TECHNOLOGY」を新規に出店し、店舗網を拡大しました。「サマンサタバサグループ」では、経営資源の選択と集中を行い、収益基盤の強化に注力いたしました。

この結果、シーズン序盤はビジネスカジュアル商品や猛暑対策商品の展開が来店客数の増加に寄与したものの、後半は前年ほど気温が上昇せず、加えて台風等の天候不順も重なったことから夏物商材の販売が低調に推移し、ファッション事業の売上高は396億65百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

フードサービス事業につきましては、期間限定メニューと価格改定により、売上高は16億20百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

教育事業につきましては、園児・生徒数の増加により、売上高は7億87百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は420億73百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益は5億71百万円（前年同期比56.3%減）、経常利益は8億65百万円（前年同期比43.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億8百万円（前年同期比88.4%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は176億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億64百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が8億93百万円減少したことによるものであります。固定資産は195億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億62百万円減少いたしました。これは主に土地及び投資有価証券の売却等により有形固定資産が6億52百万円、投資その他の資産が36億75百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は371億47百万円となり、前連結会計年度末と比べ51億27百万円減少いたしました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は150億46百万円となり、前連結会計年度末と比べ49億39百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が15億94百万円及び借入金を返済したことにより短期借入金が33億37百万円減少したことによるものであります。固定負債は49億17百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億36百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は199億63百万円となり、前連結会計年度末と比べ56億76百万円減少いたしました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は171億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億49百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は46.3%（前連結会計年度末は39.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、2025年11月14日に公表しました連結業績予想を変更しておりません。

詳細につきましては、本日公表の「営業外費用の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当社グループは事業の性質上、売上高に季節的変動があり、第1四半期から第3四半期に比し第4四半期の売上高の割合が低くなります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、親会社株主に帰属する当期純利益は4億78百万円となったものの、6期連続で営業損失及び経常損失を計上しました。また、当第3四半期連結会計期間末時点で流動比率は117.0%と流動資産の額が流動負債の額を上回っているものの、財務制限条項に抵触した金融機関借入金が存在しております。このような状況を踏まえ、当社グループは、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

当該状況を解消するために、当社においては、事業ポートフォリオの見直しを通じて経営資源を最適に配分し、採算性の向上と収益基盤の強化に努めてまいります。また、デジタル技術の活用及びDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により、業務効率化と顧客体験価値の向上を図り、価値創出に向けた取り組みを一層強化してまいります。こうした施策を通じて、持続的な成長と企業価値の向上を実現してまいります。連結子会社である株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドの抜本的構造改革につきましては、店舗・ブランドの効率化をはじめ、踏み込んだ具体的な計画の実施に取り組んでおります。

資金面においても、固定資産や有価証券の売却等により手元資金の充実を図り、資金流動性の最適化及び財務基盤の強化を推進いたしました。

また、取引金融機関と定期的に協議を行い良好な関係を維持することで、今後も継続的な支援を得られる見通しであることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,203	3,634
売掛金	1,991	2,065
商品及び製品	11,047	10,154
仕掛品	0	1
原材料及び貯蔵品	448	460
その他	1,879	1,289
流動資産合計	18,570	17,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,547	2,601
土地	6,735	5,851
その他（純額）	195	373
有形固定資産合計	9,478	8,826
無形固定資産		
商標権	1	0
その他	471	638
無形固定資産合計	473	639
投資その他の資産		
投資有価証券	3,685	660
敷金及び保証金	8,191	7,532
退職給付に係る資産	1,395	1,465
その他	494	421
貸倒引当金	△14	△3
投資その他の資産合計	13,751	10,075
固定資産合計	23,703	19,540
資産合計	42,274	37,147
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	912	1,370
電子記録債務	1,975	380
短期借入金	7,444	4,107
1年内返済予定の長期借入金	5,288	5,088
未払法人税等	169	393
契約負債	698	559
賞与引当金	277	201
その他	3,219	2,944
流動負債合計	19,985	15,046
固定負債		
長期借入金	1,597	1,105
退職給付に係る負債	515	512
ポイント引当金	20	13
資産除去債務	2,527	2,448
その他	993	837
固定負債合計	5,654	4,917
負債合計	25,639	19,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	13,433	13,098
利益剰余金	3,359	6,099
自己株式	△2,711	△2,514
株主資本合計	14,181	16,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,993	2
為替換算調整勘定	△31	△53
退職給付に係る調整累計額	490	451
その他の包括利益累計額合計	2,452	400
純資産合計	16,634	17,183
負債純資産合計	42,274	37,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	45,308	42,073
売上原価	17,916	16,723
売上総利益	27,391	25,349
販売費及び一般管理費	26,082	24,777
営業利益	1,308	571
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	45	24
不動産賃貸料	328	293
その他	133	201
営業外収益合計	512	526
営業外費用		
支払利息	149	149
不動産賃貸費用	63	49
その他	64	33
営業外費用合計	278	232
経常利益	1,542	865
特別利益		
固定資産売却益	183	765
投資有価証券売却益	361	2,626
その他	—	1
特別利益合計	544	3,393
特別損失		
固定資産除却損	30	22
減損損失	304	381
店舗閉鎖損失	27	53
その他	13	16
特別損失合計	376	473
税金等調整前四半期純利益	1,711	3,786
法人税、住民税及び事業税	146	138
法人税等還付税額	△1	△1
法人税等調整額	22	740
法人税等合計	167	877
四半期純利益	1,543	2,908
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,543	2,908

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,543	2,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	△1,990
為替換算調整勘定	18	△19
退職給付に係る調整額	△18	△38
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△3
その他の包括利益合計	△16	△2,052
四半期包括利益	1,527	856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,527	856
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1. 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
商品及び製品	2,402百万円	1,229百万円
建物及び構築物	334	485
土地	3,202	3,202
投資有価証券	3,007	—
計	8,947	4,916

担保付債務は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
支払手形及び買掛金	0百万円	—百万円
短期借入金	4,813	1,780
1年内返済予定の長期借入金	1,402	1,402
長期借入金	1,568	1,098
計	7,784	4,280

※2. 当社及び一部の連結子会社においては、流動性を確保し、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行6行と当座借越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
当座借越極度額及び貸出コミットメントの総額	6,834百万円	2,050百万円
借入実行残高	6,278	1,965
差引額	555	85

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 売上高の季節的変動

前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

当社グループは事業の性質上、売上高に季節的変動があり、第1四半期から第3四半期に比し第4四半期の売上高の割合が低くなります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	406百万円	392百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	ファッション	フード サービス	教育	
売上高 (注) 2				
重衣料	18,968	—	—	18,968
中衣料	4,018	—	—	4,018
軽衣料	7,760	—	—	7,760
服飾雑貨	11,586	—	—	11,586
その他	605	1,617	753	2,975
顧客との契約から生じる収益	42,937	1,617	753	45,308
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	42,937	1,617	753	45,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	42,937	1,617	753	45,308
セグメント利益	1,228	48	31	1,308

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 重衣料・・・スーツ・フォーマル・イージーオーダー・コート

中衣料・・・ジャケット・ボトムス・アウター

軽衣料・・・カジュアル・ワイシャツ・ネクタイ・アンダーウェア

服飾雑貨・・・シューズ・バッグ・ジュエリー・アクセサリ

その他・・・サービスの提供等

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	ファッション	フード サービス	教育	
売上高 (注) 2				
重衣料	18,356	—	—	18,356
中衣料	3,764	—	—	3,764
軽衣料	7,647	—	—	7,647
服飾雑貨	9,212	—	—	9,212
その他	683	1,620	787	3,091
顧客との契約から生じる収益	39,665	1,620	787	42,073
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	39,665	1,620	787	42,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	39,665	1,620	787	42,073
セグメント利益又は損失 (△)	556	30	△14	571

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 重衣料・・・スーツ・フォーマル・イージーオーダー・コート
 中衣料・・・ジャケット・ボトムス・アウター
 軽衣料・・・カジュアル・ワイシャツ・ネクタイ・アンダーウェア
 服飾雑貨・・・シューズ・バッグ・ジュエリー・アクセサリー
 その他・・・サービスの提供等

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(財務制限条項)

1. 当社は、借入金3,005百万円について、シンジケートローン契約を締結しておりますが、当該契約には財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおりであります。

(1) 連結の経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を計画値の90%以上に維持すること

(2) 連結の純資産額を直前期の90%以上に維持すること

(3) 第2四半期会計期間末及び事業年度末における単体の総借入額を運転資金の金額以下とすること

なお、財務制限条項は、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドのシンジケートローン契約にも適用されます。

2. 当社の連結子会社である株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドの借入金4,432百万円については、シンジケートローン契約を締結しておりますが、当該契約には財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおりであります。

・各四半期累計期間におけるサマンサ連結の経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を計画値の90%以上に維持すること

(重要な後発事象)

該当事項はありません。